

ALSOプロバイダーコース in AOMORI

ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を身につけ、発展・維持するための教育コースです。1991年に考案され、1993年に米国家庭医学会 (AAFP) によって認可され、現在、全米のほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOを受講することが義務付けられています。また、ALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年までに50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了しています。日本では2008年に金沢大学の周産期医療専門医養成支援プログラムグループが、米国家庭医学会 (AAFP) から日本でのALSOセミナー運営権を取得し、2008年よりプロバイダーコース、インストラクターコースを開催しており、2022年12月までに国内開催数は400回を越え11,384名がプロバイダーコースを取得されています。

ALSOコースは、事前eラーニング講習、実地訓練のためのマネキンとシミュレーターを使用したワークショップ、コース終了時に行われる筆記試験、マネキンによる実技試験 (メガデリバリー) から構成されています (以前はレクチャーがありましたがCOVID-19流行後は事前eラーニング講習になりました)。ALSOコースの内容は補助経膈分娩、肩甲難産、分娩後異常出血、妊婦蘇生など様々な状況における産科救急の対処法を中心としていますが、出産前のリスク評価、妊娠初期・中期・後期の性器出血、妊娠合併症、出産危機における両親のサポートなど、マタニティケアに必要な要素がすべて含まれています。プロバイダーコースを完了し、試験に合格すれば3年間有効の認証を受ける事が出来ます。

主催：弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座

共催：青森県医師会

日程：(1) eラーニング講習：登録後受講可能、12コマ視聴後テストあり
(2) 会場演習：2023年 10月8日(日), 9日(月・祝)

会場：弘前大学医学部附属病院 多目的棟1F、2F
036-8563 青森県弘前市本町53

電話：0172-33-5111(代表)

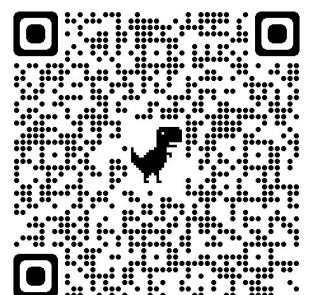
定員：20名 一般公募あり

受講料：35,750円(認定料・教材費込み)

応募締切：2023年 7月7日(金)

申し込みフォーム：

https://docs.google.com/forms/d/1RKIxytj0yp_Unpy4pTBqUWOanicKXQf7WuogiyhwQuY/edit?pli=1



会場案内：多目的棟



多目的棟へのアクセス

- (1) バス: 弘南バス
弘前駅前(中央口)6番乗り場
→大学病院前下車
所要時間20分
- (2) タクシー: 各業者
弘前駅前(中央口)タクシー乗り場
→大学病院へ
所要時間15分
- (3) 高速道路
大鰐弘前ICから約30分



